

私は、高専のウリとして図書館を紹介します。私は、そこを3年生の頃から頻繁に、学習環境として利用しています。

高専の図書館の特徴として、主に次の3つが挙げられます。1つ目は、年に2回程度、学生がブックハンティングを行うことです。ブックハンティングとは、学生が書店に出向いて、図書館に所蔵する本を選ぶ行事のことです。そのため、地域の図書館と比較して、高専生の希望する本が置かれやすいです。2つ目は、学習室やコンピューターが設備されていることです。そのため、施設を学生同士での話し合いや、学習共有の場としても利用できます。3つ目は、平日だけでなく、土曜日でも利用できることです。基本的には、平日は8時半から20時、土曜日は9時から16時半まで利用できます。

私は、4年生の定期試験前に、友人と頻繁に学習室を利用しました。4年生になると、専門分野の内容が難解になり、分からないことも多く出てきました。そこで、学習室で友人と教え合って、授業内容の理解を深め合いました。また、館内には数学や物理学、情報工学などの様々な専門書が揃っています。そのため、相談して分からなかったことも、直ちに調べて理解することができました。さらに、そこは静かな環境のため、無駄話をせずに、集中して取り組むことができました。その一方で、図書館には開館時間が限られている、というデメリットも存在します。そのため、勉強の途中で閉館時刻を迎えてしまうことが時折ありました。しかし、私はこの欠点を逆手にとって、その時刻を一日の勉強の目標に設定する、という方法で勉強し始めました。これにより、私は限られた時間内で集中して、効率のよい勉強ができるようになりました。

このように、高専の図書館は利用方法次第で、学習の効率をさらに上げることができます。私は、入学後に高専での学習を深めたいと考えている人は、是非そこを利用してほしいと思います。そして、効果的な勉強方法を自分なりに探してみてください。